

# ウクライナに対する ロシアの軍事侵攻に ついて考える

～国際法の視点と国際法の枠を超えて～

2022年  
4/20(水) 13:30  
～ 17:00

## 本セミナーの目的

国際法という「法」の視点、そして各教員の多角的な視点から「ウクライナに対するロシアの軍事侵攻」についての問題点や課題を、オンライン視聴に参加される皆さまと共有します。本セミナーを通して、改めて戦争について深く考えるきっかけになればと思います。

会場：オンライン (zoom)

対象：大学生、教職員、一般の方

※研究者向けのセミナーではございません。

申込：不要

詳細：別紙セミナープログラム参照

参加方法：

開催当日にホームページ上の URL からアクセスをお願いします。

お問い合わせ先

長崎大学多文化社会学部 河村研究室

kawamura@nagasaki-u.ac.jp

# セミナープログラム

## 第1部：法の視点からみる

### 「戦争における法の意義と問題」

—国際法に反し国内法に反しないウクライナに対するロシアの軍事侵攻—

河村 有教：長崎大学多文化社会学部准教授（25分）

### 「国際法の遵守確保における課題」

—国連、国際司法裁判所、国際刑事裁判所及び欧州人権裁判所—

東 史彦：上智大学法学部准教授（25分）

## 第2部：多角的な視点からみる

### 「核軍縮・核抑止論の視点からみるウクライナに対するロシアの軍事侵攻」

西田 充：長崎大学多文化社会学部教授（15-20分）

### 「日本国憲法第9条の改正議論と『核共有』導入議論について」

井田 洋子：長崎大学経済学部教授（15-20分）

### 「難民・移民の視点からみるウクライナに対するロシアの軍事侵攻」

細田 尚美：長崎大学多文化社会学部准教授（15-20分）

### 「アナーキズムの視点からみるウクライナに対するロシアの軍事侵攻」

森 元齋：長崎大学多文化社会学部准教授（15-20分）

### 「宗教の視点からみるウクライナに対するロシアの軍事侵攻」

滝澤 克彦：長崎大学大学院多文化社会学研究科長（15-20分）

## 質疑応答

質疑応答には、どなたでも参加可能です。

お問い合わせ先

長崎大学多文化社会学部 河村研究室

kawamura@nagasaki-u.ac.jp